

令和3年3月1日

各位

京都工芸繊維大学

令和4年度（令和3年度実施）学校推薦型選抜＜地域創生 Tech Program【地域】＞に係る選抜実施方法等について

令和4年度入試（令和3年度実施）から導入する、大学入学共通テストを利用した学校推薦型選抜＜地域創生 Tech Program【地域】＞に係る出願資格、実施方法、ならびに実施時期等について、下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

なお、学校推薦型選抜のアドミッションポリシーは令和3年4月頃、学生募集要項は令和3年6月頃公表予定です。

記

1. 出願資格

- ①出願時に、京都府福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町又は与謝野町の区域に所在地を置く高等学校を令和4年3月31日までに卒業見込みの人
- ②学校長が、学校推薦型選抜のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人
- ③合格した場合に、必ず入学することを確約できる人
- ④令和4年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験する人
- ⑤調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の人

2. 注意事項

- ①国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部（学科・課程・専攻・コース等）のみです。
- ②学校推薦型選抜で合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を出願・受験しても合格者となることはありません。
- ③本学のダビンチ入試（総合型選抜）を受験し、不合格となった人であっても、本学の学校推薦型選抜へ出願ができます。
- ④大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合格者となることはありません。
- ⑤1つの高等学校から推薦できる人数に制限はありません。

⑥課程ごとの注意事項

- ・ 応用化学課程、電子システム工学課程、機械工学課程、デザイン・建築学課程
数学Ⅲを履修していることが望ましい。
- ・ 情報工学課程
数学Ⅲを履修していること。

3. 募集人員

地域創生 Tech Program 【地域】

学部	学域	課程	募集人員
工 芸 科 学 部	応用生物学域	応用生物学課程	1
	物質・材料科学域	応用化学課程	3
	設計工学域	電子システム工学課程	1
		情報工学課程	1
		機械工学課程	2
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	2
合 計			10

※令和2年3月31日付で公表した内容から変更はありません。工芸科学部全体の募集人員については別紙1をご確認ください。

4. 出願書類

- ・ 入学願書
- ・ 推薦書（高等学校長が作成する書類）
- ・ 調査書
- ・ 志望理由書（志願者本人が作成する書類）

推薦書様式については別紙2、志望理由書様式については別紙3をご確認ください。入学願書の見本については、出願期間の開始までに本学ホームページにて公開します。

5. 出願方法及び出願期間

志願者が本学のインターネット出願サイトにアクセスし、出願登録、受験料の支払いを行い、印刷した入学願書と志望理由書を高等学校に提出してください。

高等学校において、志願者全員分の入学願書、志望理由書、推薦書、調査書を取りまとめ、本学に「書留・速達」等送達過程を記録する方法により送付してください。

出願期間

令和3年11月22日（月）から11月25日（木）まで（ネット出願の登録期間）

高等学校で取りまとめの上、11月29日（月）消印有効で提出

6. 選抜方法及び実施日

大学入学共通テストと本学で行う面接及び提出された出願書類の内容等を総合して、合否判定を行います。

面接実施日

令和3年12月18日（土）

7. 実施教科・科目配点等

大学入学共通テストにおいて課す教科・科目及び配点、本学で実施する面接等の配点については別紙4をご確認ください。

以上

本件担当
入試課学部入試係
電話：075-724-7164
メール：nyushi[a]kit.ac.jp
(※[a]を@に変換してください。)

別紙 1 : 令和 4 年度入試 (令和 3 年度実施) 工学部 1 年次生募集人員

課程	合計	一般プログラム						地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜		ダビンチ入試 (総合型選抜)		特別 入試 私費 外国人 留学生	小計	一般 選抜 前期 日程	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
			前期 日程	後期 日程	一般	グロー バル				一般	地域	社会人	
							一般		地域				社会人
応用生物学課程	50	48	30	14	3	1	若干名	2	若干名	1		若干名	1
応用化学課程	169	159	105	42	9	3	若干名	10	若干名	5	2	若干名	3
電子システム工学課程	61	58	34	20	3	1	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
情報工学課程	61	58	34	18	5	1	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
機械工学課程	86	82	50	27	4	1	若干名	4	若干名	1	1	若干名	2
デザイン・建築学課程	156	148	91	38	16	3	若干名	8	若干名	4	2	若干名	2
合計	583	553	344	159	40	10	—	30	—	合わせて20		—	10

注 1 一般選抜の前期日程では、一般プログラムと地域創生Tech Programとの併願ができます。

注 2 募集人員は次の通り流用します。

- ①私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、一般選抜の後期日程の募集人員に含まれます。
- ②ダビンチ入試（総合型選抜）で募集する地域創生Tech Programの一般（又は地域）の合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。
- ③地域創生Tech Programのダビンチ入試（総合型選抜）と学校推薦型選抜の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域創生Tech Programの一般選抜の前期日程の募集人員（若干名）に含めます。
- ④地域創生Tech Programの合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般選抜の前期日程に加えます。

注 3 学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国立大学の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

受験 番号									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

別紙 2

令和4年度 京都工芸繊維大学 学校推薦型選抜
＜地域創生 Tech Program 【地域】＞ 推薦書

フリガナ	
志願者氏名	
志望課程	

(1) 志願者の調査書に記載の学習歴や活動歴について、「学力の3要素」にかかる評価をそれぞれ記載し、地域創生 Tech Program 及び志望する課程のアドミッションポリシーに合致すると
して推薦できる理由を記載してください。また、特筆すべき事項があれば記載してください。

① 「知識・技能」に関する評価について

② 「思考力・判断力・表現力等」に関する評価について

③ 「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」に関する評価について

受験 番号
----------	-------	-------	-------	-------	-------

④推薦理由

⑤その他特記事項

(2) 第3学年における成績順位 _____人中_____位

		令和	年	月	日
京都工芸繊維大学長 殿					
上記のとおり、責任をもって推薦します。					
学校等名				印	
校長名					
記載責任者 職名				印	
氏名					

別紙 3

受験番号

令和4年度 京都工芸繊維大学 学校推薦型選抜
＜地域創生 Tech Program 【地域】＞ 志望理由書

フリガナ	
志願者氏名	
志望課程	

1. 志望課程への入学を希望する理由を書いてください。(400字程度)

--

※ここまでで、A4用紙1枚に収まるようにしてください。

受験番号					
------	--	--	--	--	--

2. 大学入学後、何をどのように学びたいか、その内容を書いてください。また、大学卒業後、大学で学んだことをどのようにいかしたいか、地域創生という観点を踏まえて書いてください。(800字程度)

※ここままで、A4用紙2枚に収まるようにしてください。

別紙 4

学域、課程名		大学入学共通テストの利用教科・科目	
応用生物学域	応用生物学課程	国 地 理 歴 史 ・ 公 民 数 理 外 国 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目選択 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5教科7科目)
物質・材料科学域	応用化学課程	国 地 理 歴 史 ・ 公 民 数 理 外 国 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5教科7科目)
設計工学域	電子システム工学課程	国 地 理 歴 史 ・ 公 民 数 理 外 国 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5教科7科目)
	情報工学課程	国 地 理 歴 史 ・ 公 民 数 理 外 国 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5教科7科目)
	機械工学課程	国 地 理 歴 史 ・ 公 民 数 理 外 国 語	国語 世界史 B, 日本史 B, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理と「化学, 生物, 地学から 1 科目選択」の計 2 科目 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5教科7科目)
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	国 地 理 歴 史 ・ 公 民 数 理 外 国 語	国語 世界史 A, 世界史 B, 日本史 A, 日本史 B, 地理 A, 地理 B, 現代社会, 倫理, 政治・経済, 「倫理, 政治・経済」から 1 数学 I・数学 A, 数学 II・数学 B 物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目選択 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目選択 (5教科7科目)

注意事項

○英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

○大学入学共通テストについて

1. 段階表示について

出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。

2. その他

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から 1 科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第 1 解答科目の得点を採用します。

課程名	配点							
	大学入学共通テスト						面接	合計
	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	小計		
応用生物学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	300	1,200
応用化学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	100	1,000
電子システム工学課程	100	50	2科目 各100	2科目 各100	200	750	450	1,200
情報工学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	600	1,500
機械工学課程	100	50	2科目 各100	2科目 各100	200	750	300	1,050
デザイン・建築学課程	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	900	300	1,200

注意事項

1. 大学入学共通テストの外国語について

英語を選択した場合には、リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、各課程の配点に換算します。リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、各課程の配点に換算します。

2. 面接の配点について

情報工学課程においては、調査書の内容を含みます。